

SCHOOL DAYS PROJECT

今、地域おこし協力隊と世界一周大学は連携して「SCHOOL DAYS PROJECT」を行う、高校生の「やりたい事」を実現する手助けをするプロジェクトを進めています。

その第一弾は皆野高校「秋桜祭」と一緒に盛り上げることで、第二弾がSNSプロジェクトです。ファン作りを目的として、皆野高校生の送る日常をInstagramで



あずま れんたろう
東 廉太郎
移住支援担当

発信しています。毎日投稿なので、ぜひフォローして2年後の閉校までの彼らの日々を見届けてあげてください。[minano_kokou]で検索すると出てきます。

そして12月5日に実施したのが、SCHOOL DAYS PROJECT 第三弾となる「49の夢ギャラリー」です。高校生たちに「そもそも夢って必要なの?」「自分の夢の探し方」をテーマに2、3年生に授業をさせていただきました。「小さな欲望」というワークショップを実施し、生徒達はそれぞれの「やりたい事」を書き出し、吐き出し、自覚します。そしてウォーミングアップを経て、自分の「夢」に向かいます。今回書き出してもらった生徒達の「夢」を元に「その夢が叶った時を想定した写真」を全校生徒徒分撮影して、いずれ役場に掲示する予定です。楽しみにしててください。

地域おこし協力隊

Love
Minano

通信

みなのフェスティバル

11月中旬に地域おこし協力隊の活動を知ってもらうために企画したみなのフェスティバル。略してみなFESを実施しました。ゴミゼロ、相席、セルフサービスをコンセプトに牡蠣小屋を実施し、初めての開催にも関わらず100人近いかたに参加していただき、僕たち地域おこし協力隊の活動内容について知っていただけたと感じています。



軽トラックを利用して作ったステージも好評で、夕方にはカラオケ大会が始まりみんなで大合唱。「次いつやるの?」「私も出店したい!」などの声もいただき、次回はもう少し内容を拡大して実施したいと考えています。



なかじま ひとし
中嶋 仁
移住支援担当

たいと考えています。

牡蠣殻のゴミは、砕いて畑に撒く肥料にするため乾燥中です。次回のみなFESで砕いた牡蠣殻の配布を予定しているので、必要なかたはぜひ足を運んでください!

また、広報と私のInstagramを通して「地域おこしの手伝いをしたい!」と連絡をくれた矢口るりさんと知り合いになることができました。

皆野町に住む若い世代が地域に興味と愛着を持ち、積極的に参加してくれることがとても嬉しく「地域おこし協力隊をやったよかったな」と実感できた瞬間でもありました。

この記事を見てくださっているかたの中にも、まだまだ地域おこしに興味があるかたがいらっしやるのではないかな?と感じています。もし興味がありましたら、ぜひ僕たちと皆野町を盛り上げましょう!連絡お待ちしております!